opusdei.org

黙想:年間第26主日 (C年)

黙想のテーマ:「他者が必要 としていることを感知する」 「神の慈しみに頼る」「苦し みに対する感受性」

他者が必要としていることを感知す る

神の慈しみに頼る

苦しみに対する感受性

「ある金持ちがいた。いつも紫の衣 や柔らかい麻布を着て、毎日ぜいた くに遊び暮らしていた」(ルカ16・ 19)。金持ちと貧しいラザロのたと えは、こう始まります。贅沢三は傷 うけの人が住んでおり、そので まいる金持ちの門前に食卓ま いるはいなり、とに いるはいなり、といかで はいなりなり、といいがな に、実に絶望的な境遇で、力がな た、傷をなめる犬を もなかったのです。

楽な生き方に浸りきっている彼に り口だということに気がの解放いる り口だということに気がつかは、 もしたとりにも起こり得ます。 を持ちにも起こり得ま少ない もしたでするとができた。 としたでしょう。ところであれるのです。 とれるのです。

彼等を見ると心が痛みます。その 人々と共におられるキリストを思っ て辛くなります。そして、心の痛み を感じることから、私が主とその 人々を愛していることが分かりま す』」[2]。

金持ちとラザロのたとえの重要な意 味は、主が二人の死後のことを話す 後半に明らかになります。生きてい る間、貧しく、不如意な生活を送っ たラザロは、天使たちによってアブ ラハムの懐に運ばれ、金持ちは陰府 に落とされ、筆舌に尽くしがたい苦 しみに苛まれます。不思議なこと に、二人を隔てているのは深淵だけ ですが、行き来ができないのです。 金持ちは最後にラザロに目を止め、 そして頼みます。「父アブラハム よ、わたしを憐れんでください。ラ ザロをよこして、指先を水に浸し、

わたしの舌を冷やさせてください。 私はこの炎の中でもだえ苦しんでいます」(ルカ16・24)。好き勝手な 生活を送っていた彼は、死後も、他 者は自分の必要を満たすための存在 にすぎないと思い続けているので す。

金持ちの隣人に対する冷たい態度 は、永遠のいのちを決定づけます。 隣人の貧しさを憐れむ心など全くあ りません。ですから、天国に直結し ている唯一の道である神の憐れみに 心を開くこともできなかったので す。「このたとえ話は明らかに次の ように警告しています。神の私たち に対するあわれみは、わたしたちの 隣人に対するあわれみと結びついて います。それが欠けていたり、わた したちの心の中に無かったりすれ ば、神はわたしたちの心に入ること はできません。もし自分の心の扉を 貧しい人々に向けて押し開かなけれ ば、扉は閉ざされたままです。また

神への扉も閉ざされたままです」 園。神の憐れみを感じる度に、私たちの憐れみを必要としている人とにる人にと言う招きないです。イエスはでいるのです。とれているとれているは、これででそれでではいます。住んでかるとき、ないまな「地上から神に至る道」」を開くことができます。

属人区長が思い起こさせてくれます。「他者に対するキリスト教的致なにキリストが私たりになった使命に対する一致インで、対きにおいてった使命に対けるがよいであるよりにおいるよりにおいるよりにあるよりにあるよりにながら、単純にの奥深くの中間となったりしながら、聖パウロ

の深遠な言葉が分かるようになるで しょう。「あなたがたは、わたした ちの主イエス・キリストの恵みを 知っています。すなわち、主は豊か であったのに、あなたがたのために 貧しくなられた」(ニコリント8・ 9)。私たちも、私たちの僅かな財 を、もっと貧しい人々と分かち合う 必要のあることを感じるでしょう。

「私たちは民衆と共にいます。決し て引きこもったりせず、人々と交わ ります。私たちは、イエス・キリス トの『群衆がかわいそうだ。もう三 日もわたしと一緒にいるのに、食べ 物が無い』と言う言葉を心に刻みつ けています」で、キリスト信者な ら、世の中の艱難に無関心でいるこ とはできません。逆に、神の子であ ることを理解すると、難しさもある 世界の相続人であることを知りま す。ですから、私たちも主と同じ心 を持つことができるよう、イエスに お願いすることができるのです。

「皆が、現代の人々、特に弱い人たちの窮乏、痛みや苦しみを感じ取るため」[7] です。

[1] フランシスコ、一般謁見演説、 2016年5月18日。

[2] 聖ホセマリア、『拓』827番。

- [3] フランシスコ、一般謁見演説、 2016年5月18日。
- [4] 『神の朋友』314番。
- [<u>5</u>] フェルナンド・オカリス、2019 年11月1日司牧書簡、10番。
- [6] 聖ホセマリア、手紙24、23番。
- [7] フェルナンド・オカリス、2017 年2月14日司牧書簡、31番。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/meditation/mokusou-nenkann-26shujitu-c/(2025/12/15)